

1995年(平成7年) 7月

第 7 号

# きぼう

この子等の幸せを考える親の会  
榎の木グループ  
事務局

〒494 尾西市富田字漆畑16番地

TEL/FAX: 0586-61-6055

編集責任者: 広報・研修事業部

## 榎の木盆踊り大会

強い風と一瞬の夕立にこそ見舞われましたが、心配された台風の影響にもまぬがれ、8月9日の夕闇迫る頃、提灯が明るさを増し初めるにつれ、大勢の人たちに集って頂くことが出来ました。

三条コミュニティ太鼓のオープニングより、起音頭から始め、幾重もの踊りの輪が広がりました。あかつき富美寿会の皆さんの先導がありました。模擬店では、40名のボランティアの皆さん、富田西町の役員・子供会の皆さん等のご協力を得、またコスモス、ふたば作業所の友好出店も得られました。榎の木利用者の有志もとても冷たい缶ジュースを販売しました。

この日、榎の木を退所した仲間も何人も来て、元気な顔を見せてくれました。午後9時、炭坑節が終り、大音響と共に花火が上がって、集いは終了しました。

地域の、また関係者の皆さんの参加・ご協力どうもありがとうございました。



平成9年8月9日、榎の木盆踊り大会



## 収益事業部より

## 夏の物資販売にご協力いただき

## ありがとうございました

物資販売も今年で4年目に入り、年2回のこの取りくみも少しずつ定着しつつあります。会員の知り合いを中心にご近所の方、勤務先関係、養護学校の先生方にも物資を買っていただきました。おかげ様で今回も前回と同程度の成果を得ることができました。ありがとうございました。

売上点数 1,089点  
 売上金 1,129,740円  
 収益金 300,541円



## 7/6 ほのほのまつり参加

きそがわ作業所さんのバザーに参加させて頂きました。手芸品・靴下共あわせて11,610円の売上がありました。ありがとうございました。

## 8/9 煙の木盆踊り大会参加

今年も不用品バザーで参加させて頂きました。当日はお天気の心配もあって、作業所の食堂をお借りして不用品を並べさせて頂きました。5時半のバザー開始よりも早くからお客さんがつめかけて下さって、始まると同時にしばらくはてんやわんやの大騒ぎでした。

日用雑貨、衣料、本、おもちゃ等の他に野菜類、すず虫などもあり、大人から子供まで大勢の人でにぎわっていました。当日は準備等で職員の方々にお手伝いいただきました。収益金は110,210円。たくさんお買い求めいただきましてありがとうございました。

## ボランティアさん募集

月1回の手芸品製作会に参加していただけるボランティアさんを募集しています。今月は下記のようにです。

日時 8月29日(金) 9:30~15:00

場所 南部公民館 3階学習室 (午前中 第2学習室、午後は第3学習室)

内容 ~~アームバンド作り~~ 布で作るチューリップ  
~~わっかの色分け~~ マット作り など

持ち物 裁縫道具

ご参加お待ちしております



リクレーション部だより

## 大府ぶどう狩りへ行こう

親子遠足で大府長根山へぶどう狩りを9月15日(祝日)の日に計画をしております。そこは平らな場所も広くあり、車椅子の方も自由にとって食べられ、十分に楽しめます。ぶどうは巨峰で甘みがありおいじです。

入園料金はお一人様1600円です。

多数のご参加をお待ちしております。

## 楽しい陶芸教室開かれる

新しい窯を整備していただいて、初めての陶芸教室が7月9日、南部公民館で開かれました。参加者の皆さん、各自好きな作品に取りかかり、お皿を作る人、一輪挿しの花瓶を作る人、手のひらにのるほどの小さなお人形など思い思いの作品に仕上がりました。これも、渡辺先生や中井先生のご指導によるものと感謝しております。

この日、土に親しむ楽しい1日に参加した人は22名でした。作品はこの後、陶順会の皆さんのご指導により、素焼き、色付け、本焼きを経て、間もなく完成に至ります。どんな仕上がりになるのか窯開きが楽しみでなりません。次の陶芸教室も多数ご参加下さい。



平成9年7月9日、陶芸教室。南部公民館にて。



みんなの広場

## ある光景を前にして

通所バスを運転していると、ご老人がふと路傍に乳母車を止め、杖を持って何処を見てもなく凝っと腰掛けているのを時々見かけます。

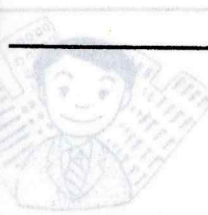
こうした光景は以前、私の家の近くでもありました。それは、母から聞いたことなのですが、町内の最長老のご老人が、毎日決まった時刻に尾西市内を流れる日光川の堤防に来て、やはり乳母車に腰掛けて凝っと川面を眺めているのだそうです。最初は、ご老人の毎日の日課だろうと、別にたいして気にも留めずに素通りしていたのですが、どうもこの光景の中には私たち人間にとってとても大切な意味があるのではないかと、近ごろは気になるようになってきました。

そこで、この現象について私なりに考えをまとめてみようと思い立ったのです。私たちは某かの（例えば美しい）景色を眺めようとするとき、ひとつの観点を取ります。それは風景という私たちの視覚に映し出される画面の中の部分部分を切り取りながら、細部に亘って確認してゆきます。風景全体は漠然とした意味を確保しながら、図（部分）に対する地としてそれらを際立たせます。地としての全体風景が存在しなければ、諸部分（図）を観ることはできません。私たちは知らず知らずのうちに背景における形態という関係を以て、視覚的対象物を知覚しているのです。これは、冒頭に申し上げたように私たちが世界を知覚するうえでは、私たち自身が特定の観点を必ず持たなければならないことを証示しているからです。つまり、他ならぬこの私が風景を眺める（対象化する）ということなのです。

ところが、私が見たご老人の場合はどうもそうではないような気がするのです。ご老人がその場所に腰掛けて凝っと景色を眺めているのは実はそうではなくて、其処に在る自然的な環境の中にすっぽりと包まれているような感じがするのです。それは恰も、何かしら風景と一体化してしまっているようなのです。しかも、ご老人の方が風景を観るというのではなく、風景の方がご老人を観、彼を自分たちの懐に同化してしまっているような感じなのです。

それは、私たちが風景を観、自分たちにとって住みやすい環境を拵え、地域の特色を造り上げてゆく、というのではなくて、寧ろ地域の方が、自然の方が私たちを住ませ、私たちの生活を支え、私たちをして環境に適応たらしめるものである、ということ暗々裏に証明しているのではないのでしょうか。





## みんなの広場

つまり、私たちの生活は特定の地域、土地、風土の中での生活でなければなりません。根なし草の生活は本来的な生活とは違うような気がします。

ご老人は、自分たちが生まれ、育ち、生活してきたこの地域の自然的人間的環境のさまざまな布置、そこに刻まれた足跡、年輪、匂いというものを追認しながら、次世代の人々の繁栄を祈りつつ、今の自分の一日一日の貴重な時間を、まるで煙草を燻らすように味わっているかのように思えてなりません。

それは、私たち人間にとって生活の舞台であるところの地域がいかに大切なものであるかということ、それが決して不当に奪われてはならないものであるかということ、ご老人から学ばなければならないということです。

さらに、権利上私たちは自分が生まれ育ち、現に生活しているところのこの地域に、これからもずっと住まうことができるのですが、義務上この地域をいかなる余所の地域に対しても自信を持って誇りに思うことのできる、素晴らしい地域に育ててゆこう、という自覚をそれぞれが持たなければなりません。



## 夏休みの思い出

樫の木の盆踊りも終わり、夏季休暇のある日のこと。親子有志が一宮に集合し、揃ってバスツアーを楽しんできました。南アルプス・野辺山方面。

賑やかな車内から、周囲の幾重にも連なる美しい山々を見つめているうちに目的地につきました。

大根堀りをしたり、コスモス畑、ひまわりの咲き誇る山辺で思う存分自然界を満喫しました。家庭のことや仕事のことさえ忘れてしまい、楽しいひとときを過ごすことが出来ました。

暑い日でしたが思い出を胸に帰路に着きました。いつまでも若々しい母でありたい。



(2)

親の会の声

お知らせコーナー



秋のついで

秋の講演会

講師は、愛知愛護協会会長をつとめられ、現在知的障害者自立援助施設べにしだの家(名古屋市)所長の島崎春樹先生です。

「知的障害を持つ人が、最小限の援助を受けながら、地域で自立的に生活できるようにとグループホームを作り、そして平成7年に入所更生施設を作っ

☆ 関心のある方は、会員以外の一般の皆さんもどうぞご入場ください。

期日: 10月6日(月)

時間: 午前10時から午前12時

場所: 尾西市文化会館3階講堂

講師: 島崎春樹氏

演題「知的障害者の自立援助の実践について」(仮題)

主催: この子等の幸せを考える親の会

尾西祭り

恒例の尾西祭り。10月25日(土)・26日(日)に、市役所前の通りや文化会館等で開かれます。親の会からは、手芸品等を製作中です。今年は、榎の木利用者の皆さんの手による陶芸作品も出品予定です。乞うご期待!



編集後記

ここに、会報誌第7号の発行にいたりしました。これから、「読者の広場」を設けようと思っています。会員の皆さんだけでなく、一般の皆さんの投稿を期待しております。

いっそうの内容の充実を図って行こうと思っていますので引き続きご愛読下さい。

榎の木グループは、地域のふれあいを大切に、努力してまいります。

この子等の幸せを考える親の会 社会福祉法人 榎の木福祉会 榎の木の作業所	〒494 愛知県尾西市富田字漆畑16番地 TEL・FAX 0586-61-6055
榎の木園	〒494 愛知県尾西市富田字若宮前17番地 TEL・FAX 0586-62-8202